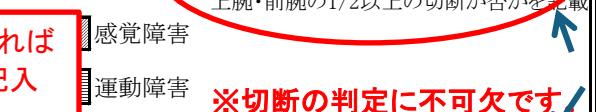
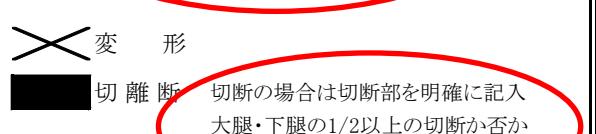
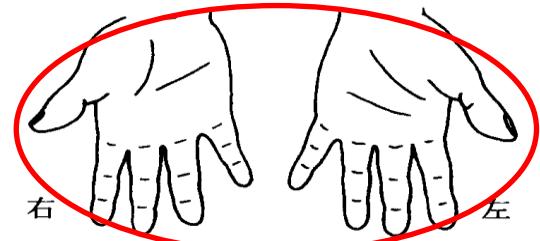
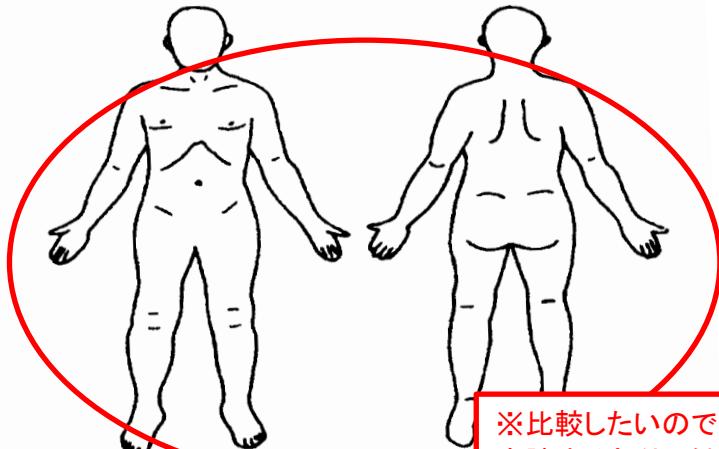


※診断書2枚目以降の各検査項目は、すべて記入してください。記入できない場合は、その理由を余白に記入してください。

1. 神経学的所見その他の機能障害(形態異常)の所見 (該当するものを○で囲み下記空欄・参考図示に追加所見記入。)

- (1) 感覚障害(下記図示) : ①なし ②感覚脱失 ③感覚鈍麻 ④異常感覚
- (2) 運動障害(下記図示) : ①なし ②弛緩性麻痺 ③痙攣性麻痺 ④固縮 ⑤不随意運動 ⑥しじんせん ⑦運動失調  
⑧その他( ) ※( )内は具体的に記載お願いします。
- (3) 起因部位 : ①脳 ②脊髄 ③末梢神経 ④筋肉 ⑤骨関節 ⑥その他( ) ※( )内は具体的に記載お願いします。
- (4) 排尿・排便機能障害 : ①なし ②あり **※麻痺等を発症する疾患の場合は不可欠です。**
- (5) 形態異常 : ①なし ②あり

【参考図示】※図示は障害部位との整合性を確認して下さい。



2. 計測

※関係ない部分は記入不要

右		左
上肢長 cm		
下肢長 cm		
上腕周径 cm		
前腕周径 cm		
大腿周径 cm		
下腿周径 cm		
握力 kg		

※比較したいので、できれば申請する部位と健側も記入してください。

【計測方法】

上肢長 : 肩峰 → 桡骨茎状突

下肢長 : 上前腸骨棘 → 脛骨

上腕周径 : 最大周径

前腕周径 : 最大周径

大腿周径 : 膝蓋骨上縁上10cmの周径 (小児等の場合は別記)

下腿周径 : 最大周径

※切離断について(補足)

・手指の場合、「第2指PIP関節での切離断、MP関節での切離断」等。

・足部の場合、「リスフラン関節での切離断、中足骨レベルでの切離断」等。

※動作・活動の状況は関節可動域・筋力テストとの整合性を確認して下さい。

3. 動作・活動の状況(自立-○ 半介助-△ 全介助又は不能-×)

寝返りをする	
足をなげ出してすわる(背もたれ)	
椅子に腰かける(背もたれ、肘かけ)	
洋式トイレにすわる	
排泄のあと始末をする	
椅子から立ち上がる	
(手すり、壁、杖、松葉杖、義肢、装具)	
片足で立つ	右 左
家の中の移動	
(手すり、壁、杖、松葉杖、義肢、装具、車椅子)	
二階までの階段を上って下りる	
(手すり、壁、杖、松葉杖、義肢、装具)	
屋外での移動(杖、松葉杖、義肢、装具、車椅子)	
公共交通機関を利用する	

注: ( )の中のものを使用する場合は、使用するものを○で囲んでください。その場合は、自立していないという解釈になりますので評価は△、「×」のいずれかを記載してください。

つまむ(新聞紙が引き抜けない程度)	右 左
握る(丸めた週刊誌が引き抜けない)	右 左
箸で食事をする(スプーン・自助具)	右 左
コップで水を飲む	右 左
ブラシで歯を磨く(自助具)	右 左
顔を洗いタオルで拭く	
タオルを絞る(水をきれる程度)	
背中を洗う	
ズボンをはいて脱ぐ(自助具)	
シャツを着て脱ぐ	